

3月9日(水)

本年度第32回(通算2578回)12時30分～ 釧路プリンスホテル

『あなたのできる国際奉仕パート2』 担当/国際奉仕委員会

☆お客様と来訪ロータリアン

・小家山 勝君 (弟子屈RC)

☆メイクアップ

2月12日	本間明美君	財団セミナー・米山セミナー
3月7日	森山義文君・高橋貢君・平澤利秀君	釧路北ローターアクト

☆出席報告【会員総数65名 免除11名 出席計算に用いた会員数65名】

2月23日 出席及びメーカー数 40名 出席率 61.5%

☆ニコニコ献金(今年度累計 523,000円)

- ・足立先生宜しくお願い致します 三原克也君
- ・国際奉仕のご協力宜しくお願い致します 泰地浩幸君
- ・足立先生宜しくお願い致します 萩原昭博君
- ・足立先生講師宜しく申し上げます 齊藤憲一君

☆会長挨拶

会長挨拶に先立ち皆様にご報告いたします。昨年12月24日ご逝去されました故金森元英パスト会長の奥様サカエ様より、亡くなられた金森先生の北クラブの思いを、寄付という形で遺らせて頂きたいとの申し出があり、多額のご寄付を頂きました。皆様にお世話になりましたことよろしくお伝えくださいとのことでした。坂本新世代育成基金として使わせて頂きたいと思いますが、来週の理事会にて正式に決定させて頂きます。

さて、1年を通じていろいろな記念日がありますが、今日3月9日は何の日かご存知の会員の方もおられると思いますが、3月9日 雑穀の日です。ザッコクと読む語呂合わせに由来するそうですが、食材としてのおいしさや、高い栄養価など、雑穀のすばらしさを伝えていく記念日です。私も週2回は、雑穀の入った麦ご飯を食べています。体には良いのだろうとの思いから始めました。皆様も雑穀ご飯を楽しんでみてはいかがでしょうか。

☆幹事報告

①本日の回覧は

・ザ・ロータリアン ・厚岸RC様より会報です

②国際ロータリーニュースが届いております。ロータリアンを狙った詐欺メールにご注意して下さい。

③次週移動例会のご案内を皆様に送りました。出欠の締め切りは11日(金)です。内容につきましては、場所は日本製紙(株)釧路工場です。

時間は12:30～例会セレモニー 13:10～14:00工場見学です。

④新モンゴル高校 ジャンチブ校長が来釧し移動例会に出席されます。



足立功一 PDG

〈国際奉仕について〉



RIの奉仕活動

- クラブ奉仕
- 職業奉仕
- 社会奉仕
- 国際奉仕
- 新世代奉仕

五大奉仕

国際大会が海外初開催

■スコットランドのエジンバラで開催されたことを記念して国際奉仕の考え方が発表
「奉仕というロータリーの理想に結ばれた職業人の世界的友好による理解、善意および国際的平和の増進」：1921年
それを綱領の中に加えるように提案され、翌年の1922年ロスアンゼルス大会綱領の第6項目として正式に明文化。
削除されずに現在にいたる

姉妹クラブの意義

- 異なる文化を持つ海外のロータリークラブとの交流で世界平和を実現
- 目的が同じ奉仕活動をしているクラブ間の協力強化：マッチング・グラント
- クラブメンバー同士との交互に訪問と、会員間の有効を深める
- 両クラブ間でロータリーの奉仕活動を共同で行う（WCS、マッチング）

国際奉仕の基本方針

ロータリーの綱領の第4項に表現されている
「奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進する」
(RI定款第4条、標準クラブ定款第4条、第5条)

国際奉仕の分野別分類

- 1) 世界社会奉仕プログラム (WCS)
- 2) 国際的教育と文化交流活動
- 3) 特別な国際デーや国際週間・月間と催し
- 4) 国際的な会合 (国際大会) (ロータリー章典8.050.2.)

姉妹・友好クラブ

- ◆日本国内
 - 1、北と名がつくクラブとの交流?
 - 2、RI会長代理の所属する顧問RC?
 - 3、奉仕事業の同じ目的を持つ同士?
- ◆世界的には
 - 1、昔から何らかの交流がある：宜蘭ロータリークラブ (台湾)
 - 2、新しく奉仕活動を策定する予定のクラブ：首都ロータリークラブ (モンゴル)

初期ロータリーでの国際奉仕

- 1914年：第一次世界大戦の頃、アメリカからヨーロッパに出兵したロータリアンの子弟を、イギリスのロータリアン家庭がホスト。
- アメリカ、イギリス、アイルランド、カナダのクラブによって、ヨーロッパ各地で行われた避難民への物資供給、傷病兵の慰問、終戦で復員してくる軍人に対するボランティア活動。

国際奉仕プログラム

- 1、ロータリー友情交換
- 2、国際青少年交換
- 3、ロータリー・フェロシップ
- 4、地域大会・国際大会参加
- 5、外国クラブの例会参加
- 6、友好・姉妹クラブ締結等の活動
その他は財団のプログラム

姉妹クラブ締結の方法

- お互いのクラブを訪問し、事前の交流を深める
- 当該年度の会長・役員の強い決意
- WCS、マッチング・グラントなどの共同で行える奉仕活動の策定
- クラブ内奉仕で志を同じくするものがある
- 各クラブの周年行事への参加
- その地区の地区大会への参加
- 姉妹クラブの再締結：3年毎に再締結

アーチ・クランフ基金

- 1917年：国際理解と親善を目的としたロータリー財団の前身が創設
- ◆基金の設立が余りに唐突であった
その趣旨が理解されなかった
募金が集まらず、本格的なロータリー財団の活動は、ポール・ハリス没後の1937年まで持ち越される。

国際奉仕が果たすべき仕事

■ロータリアンの中に、また、一般の人々の間に理解と善意を育むことが、ロータリーの国際奉仕が果たすべき仕事
ロータリー章典8.050.1

姉妹クラブ締結後の問題点

- 時間が経過すると当時姉妹クラブ締結に熱心だった会員の殆どは、退会したり亡くなったりして残っている会員もすでに高齢して活動的ではなくなる。
- 新しい会員のなかには、『何故、姉妹クラブなのか?』と疑問視する人もでてくる。『ぼつぼつ、他のクラブと姉妹クラブの締結をしたらどうか?』との意見
- 交流が形式的になって、訪問交流より観光旅行が主で、本来の目的であるクラブ間の交流は、影を潜めてしまう